

交流

- ・エントランスホールや中庭については、**木材（ヒノキ等）を天井に利用**し、様々な世代、幅広い層の来館を想定した、**施設を象徴する明るく開放的な空間**とする。
- ・1階来館者用スペースについては、皇居側に面した明るい空間とし、**AV機器（映像・音声）等を設置**することで、多様なイベントを実施できる空間とする。



【エントランスホール及び大階段】



【1階来館者スペース：利用可能人数100名程度】

憲政記念館

- ・現在の建物が有する歴史的価値を尊重し、**尾崎行雄像、ロビー前の大理石、格子天井**について、**再配置・再利用やイメージの再現**を図り、現憲政記念館の持つ歴史的・建築的価値を継承する。
- ・講堂は、**内装壁に木材（ヒノキ）を積層**し、日本の民主主義の伝統や歴史の積み重ねを象徴するような空間とする。**全席からのサイトライン（座席から舞台への視線）を考慮**した上で、現在の座席数を確保し、車いす利用者の利便性にも配慮する。
- ・議員会議室は、現在と同様**会議室からの眺望を維持**し、同規模の人員が収容できるものとする。展示来館者とは動線を区分し、多数の利用者の利便性に配慮する。
- ・食堂及びテラスについては、皇居の眺望や国会前庭の緑を楽しみながら食事のできる空間とする。



【憲政記念館中央ロビー及び尾崎行雄像】



【講堂：496席】



【議員会議室：150名程度】



【テラス・食堂：120席程度】

その他の設計上の配慮事項

- ・木材利用 : **エントランスの天井、講堂の壁面、展示室の床等に、ヒノキやナラ等を用いる**など、樹種のもつ特性も踏まえ 木材を積極的に活用することで、親しみのある空間を演出する。
- ・ユニバーサル : **バリアフリートイレを計12か所、性別に関係なく利用できる共用トイレを計3か所設置**するデザインとともに、**託児室（12名利用可能）、授乳室を設置**するなど、多様な利用者の利便性に配慮する。
- ・感染症対策 : 地下の展示空間等においても、**機械換気により30m³/人・hの換気量を確保**し、推奨される**必要換気量を確保**。



【エントランス軒裏の木材】